

## 平成26年度 第2回北杜市健康づくり推進協議会会議録

- 1 審議会等会議の名称：第2回北杜市健康づくり推進協議会
- 2 開催日時：平成26年11月25日（火） 午後7時00分から午後8時40分
- 3 開催場所：北杜市役所 西会議室
- 4 公開・非公開の別：公開
- 5 傍聴人の人数：0人
- 6 議 事
  - (1) 第2次北杜市健康増進計画について
  - (2) 北杜市新型インフルエンザ等対策行動計画について
  - (3) その他
- 7 出席者 委員11名  
吉田和徳 堀内正基 小松由美子 福田すみ江 栗沢和江 中込豊  
鈴木今朝和 早川江利 日向三郎 赤岡直樹 麻川仁  
  
事務局 6名  
平井光市民部長 野牛嶋伸健康増進課長 三井ひろみ指導監  
企画予防担当 長田恵美子 輿水秀子  
保健指導担当 廣瀬佐智子
- 8 欠席者 4名  
津金永二 原かつみ 利根川昇 清水敏彦
- 9 署名録委員  
栗沢和江 赤岡直樹

—午後7時00分開会—

1. 開会あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 第2次北杜市健康増進計画について

【事務局】資料1で説明する。

【議長】事務局より説明がありました。これについてご意見質問等ありましたらお願いします。

【委員】母子事業についての説明がありましたが、例えば北杜市の中で人口の割合が6割くらいの高齢者の保健事業の現状をお聞きしたいです。

【会長】高齢者についての事業の質問がありました。事務局お願いします。

【事務局】健康増進計画の中の高齢者についての介護予防的的事业は、介護支援課の包括支援センターで実施しています。内容は、介護予防に関する講演会や保健福祉推進員を通じて高齢者向けに公民館等に集まって地域で実施してもらう介護予防事業の「はつらつシルバー事業」を行っています。また65歳以上の方でも若い方でも元気でできる状況である方に介護予防サポートリーダー研修を実施しています。認知症サポーター養成事業を実施しています。また、65歳以上の方でも若い方でも参加できる運動教室なども開催しています。

【委員】介護支援課の方で高齢者の健康教育を実施しているようですが、「はつらつシルバー」は年2回実施していますが、毎年パターンが同じで、もう少しいろいろな話を聞きたいという意見があります。認知症とか高齢者の健康保持など日常の必要な事の話聞くことで、介護保険料も少なくなるなど北杜市の狙っている事に通じるのではないかと思います。

【委員】4カ月健診のアンケートですが、7カ月健診や12カ月健診などその都度アンケートをすると未受診者が減ると思うし、状態を宣伝やアピールするともう少し受診率が上がるのではないかと思います。

【事務局】出産の時に子宮がん検診をします。12カ月健診時にも子宮がん検診を受けましょうとチラシを配布して呼びかけています。がん検診についてもご意見のとおり他の検診時も話をするよう参考にします。

【委員】ヘルシーレストランの調理を食改が行っています。テーマに沿った調理をし、作った調理を選んでもらって、どんな料理をバランスよく食べたらいいかという教室ですが、皆さんの健康のことを考えて調理していますが、参加者がいつも少ないので残

念です。参加者を増やすというのが課題ですが、募集期間がすごく短いです。個人情報  
の関係で食改のメンバーがどのような人に声かけしていいのかわからない。健診結果  
からだと思われるが、もう少しみんなに話ができているいろいろな人に声かけをし開催で  
きたらと思います。

【事務局】健診の結果をみながら対象者を選び出しています。健診終了後1か月後くら  
いに結果が戻ってきてから、結果報告会の時に対象者に声かけをしています。その他の  
事業等の関係ですぐ開催できればいいのですが、声かけした時はみなさん参加すると  
返事をしてくれるのですが、ヘルシーレストランを開催する時期が遅れると参加者が  
減ってきます。対象者は健診の結果からなので、食改さんには難しいところだと思いま  
す。参加者が増えるような開催を来年度考えていきたいと思っています。何もデータがない  
ところでは声かけしづらいし説得力がないので、来年度検討していきたいと思っています。

【会長】健診を行いながら、対象者を抽出しながら、健康教育を実施するというスケジ  
ュールですね。

【委員】995人の対象者のうち参加したのが33人という実績です。対象者を一般に広げ  
たらどうですか。一般に広げるともう少し参加が増えるのではないですか。

【事務局】講演会等は広報や回覧板等で対象者を広げて開催しています。ヘルシーレス  
トラン事業については県補助金の関係から対象者を厳密に抽出しないとならないので、  
効果的な面から対象者を絞って実施しないと効果が見えにくくなってしまいます。健  
康に興味を持った方や日頃から気を付けている方は参加するが、こちらからアクション  
をおこす対象者は病気だったり事情があったりするけれど、普段気持ちがないとか  
改善できていない方です。

【委員】990人の対象者のうち33人の参加者という事業は意味がないということになり  
ます。

【委員】健診で高血圧等で引っかかった人というと、食事の指導をされますが、作って  
くれる人に指導してもらうことになります。この場合の指導法を充実させていたら  
と思います。人間ドックなどに行くと何月何日までに痩せなさいと指示がきます。健康  
器具を買ったりとこちら意識を持てますが、本人に自覚を持たせないといけな  
いと思います。親を見るとうまいものを食べて死ねればいいんだというところが見え  
ます。やはりこういうものに参加することは難しいので方法を考えてもらいたいです。

【会長】奥さんと一緒にという意見がでましたが。

【事務局】奥さんが聞いて行ってもいいこととしています。昼間だと仕事の関係で今回  
夜も開催しましたが、それほど参加者は増えなかったのが現状です。

【会長】開催時期と対象者などもう一度考え、大勢集まってくれる方法を模索しないと  
いけないです。他にご意見ありますか。なければ次の企画予防担当に移ります。

【事務局】資料2で説明する。

【会長】新型インフルエンザ等行動計画と普及啓発事業とは内容が異なるので、普及啓

発事業について分けてご意見をいただいた方がいいと思います。それでは短期大学女子学生の講演のアンケートの報告をいただきました。いずれは場を広げて子宮頸がんの検診を全員が受けていただきたいという内容でしたが、このことについてご意見をお願いします。

【委員】感じる場所があってお聞きしたいのですが、ピンポイントで対象を子宮がんと考えているということだが、最近男性にせよ女性にせよ子どもができない・妊娠ができないという現状があるが、子宮がんではなく子供ができない原因について考えていただきたいし時間を作って研究していただきたいと思います。

【事務局】不妊に対する調査的な部分・傾向等は市では統計は行っていません。助成事業的な部分では母子担当が相談や補助金制度等で対応しています。日頃から自分の身体を大切に等は思春期対策事業で小・中・高の命の授業の中で実施しています。不妊については行ってない状況です。

【委員】専門医では行っていると思うが、役所としてどこかで研究等時間を費やしてもらいたい。

【事務局】デリケートな問題になっていますので深く確認も難しいところですが、少子化の時代でもあり重要な課題として母子担当と相談し検討していきたいと思います。

【事務局】女性の出生数の減少生む生まないの問題もありデリケートなことですが、思春期の事業では、身体の大切さなど基本を伝えています。学校では保健体育などの授業で基本を押さえていただければと思います。

【委員】行政とかは子供を育てやすい環境が整っているが、一般企業は制度が役に立っていない。その環境ができていないので生みたくても産めない、子どもをあずかるとうの対応をしてもらいたい。

【委員】不妊治療の問題は子宮頸がんとは遠ざかってしまう。この会議の中では問題が大きくなりすぎてしまい、今は子宮頸がんを子供たちにしっかりとアピールしていくということを考えてもらいたいと思います。

【会長】子宮頸がんから少子化の問題に広がってきましたが、政策的に出生数が増えたとか長野県では住宅を用意したとか、行政の担当で情報を得てこの会議に還元していただければと思います。それでは、次の新型インフルエンザ等対策行動計画について説明をお願いします。

## (2) 北杜市新型インフルエンザ等対策行動計画について

【事務局】資料により説明する。

【会長】感染症等行政の連絡等わかりにくいとは思いますがこれについてご質問等ありますか。

【委員】テレビをみていたらインフルエンザには3つの型があるということでしたが、注射をすると実際5か月間効力があるということでした。今注射をすると4月5月ま

で効力があるといいなと思いました。今年の流行は何だとか情報を早く伝えていただいて、簡単な説明をしてもらいたいです。

**【会長】**完全に新型インフルエンザだと予防接種は効きません。2009年でしたか流行した時は、かかったことがあったのか高齢者にはかかりにくく、子どもや若い保護者に多く感染しました。スペイン風邪は毎年流行していたインフルエンザではなく、変わった型のインフルエンザによるものでした。第二次世界大戦時に大勢の人が亡くなった原因もインフルエンザとも言われています。

今回のエボラ出血熱がまさにこれに当たります。幸い日本では発生していませんが感染症は目に見えません。外国から帰ってきて白州町で寝ているときに発症する可能性が高いです。北杜市内でも東南アジア等に工場を持っている企業もあるので、北杜市内で発生することも考えられなくはないです。デング熱は前からあったものではないかという気がします。

計画を作っておくことは大事ですが、誰も出会ったことがないものなので、発生したら大パニックになると思われます。外国では医療関係者も出勤しなかった事例があります。また、医療関係者が亡くなった例もあります。北杜市内では例がないだろうと思わず、12ページの流れぐらいは知っておいてもいいかと思います。感染症の指定病院は甲陽病院になっていますが、どういう経過で指定されたか不明ですが、呼吸器内科の専門医は韮崎市立病院に一人しかいません。県内にもそう大勢いません。新型インフルエンザが流行したら呼吸器内科の専門医が対応することとかなり少ない医療従事者です。起こったらどうなるだろうということです。初めて起こったら中央病院でもバタバタすると思います。

仮に感染症が発症したら、市民の皆さんが全員知っておくべきことは、一般の医療機関には行かず、自分の車で専門の医療機関に行くという知識を日本人全員が持っていないといけません。そういうことを含めみんながわかっていないといけませんので準備は大事です。バスや電車に乗って移動してしまったら健診を受けないなどということとは訳が違います。ガイドライン等抜粋を示して市民に分かるような方がいいし、北杜市だけの問題ではないです。

**【委員】**新型インフルエンザと季節性インフルエンザと風邪の明らかに違う症状はなんですか。

**【会長】**風邪症候群の中に普通の風邪（感冒）があり熱はあまり高く出ません。流行性感冒は高熱、突然発症、頭痛や全身症状というのが特徴です。但し普通の風邪でも高熱が出る場合があるし、季節性インフルエンザでも検査結果が直ぐ出ない時もあります。季節性の場合、8時間から10時間置いた方が検査結果が明らかになるので、早い段階で受診した時は、午後もう一度受診させるようにしています。インフルエンザウイルスが増殖するには2日から4日かかります。症状で区別は難しいです。新型インフルエンザは突然発症です。

【事務局】 新型インフルエンザ等対策行動計画についてチャート図の補足があります。14 ページから 15 ページを見ていただきますと、発生段階を 6 つに決めました。主な対策と発生段階ごとに国・県の行動計画に基づいています。チャート図についても後程発送するように考えます。この行動計画についてご理解とご承認をいただきたいと思えます。

【会長】 48 ページにも詳しく出ています。興味があるし心配なことですが、内容が豊富でわからないことだらけです。ご質問ご意見等出尽くしたようでしたら、その他として何かありますか。なければ以上で議事を終了します。ありがとうございました。

#### 4. 閉会あいさつ

【副会長】 長時間ありがとうございました。健康ということでみなさんも家族の健康を考えていてほしいと思います。以上で第 2 回北杜市健康づくり推進協議会を終了いたします。

—午後 8 時 40 分閉会—

署名録委員 氏名

氏名